

「稲わら」は、焼かずに有効活用しましょう!



稲わら焼きは、目や喉の痛みなどの健康被害、視界不良で前方や信号機等が見えないなどの交通障害、洗濯物が干せない、換気ができないなどの生活環境被害など、さまざまな影響をもたらします。

県内では、稲わらの焼却面積は大幅な減少傾向にあるものの、津軽地域では、わら焼きによる煙の苦情がまだまだ寄せられています。

稲わら活用Win-Winモデル事業

市では、令和3年度から稲わら焼きの被害が多い地区（唐笠柳、米田の一部、水野尾の一部）をモデル地区として稲わらを収集する事業を実施しています。

今年度は、稲実の一部もモデル地区に加え、稲わら焼却防止のために取り組んでいます。



稲わら出発式の様子

また、化学肥料の価格が高騰し農業経営への負担が増大していることから、すき込みによる土壌成分の変化を調査し、化学肥料の使用量削減に向けた取り組みも行っています。

稲わらは、水田へすき込みしたり、花や野菜を栽培する際の敷きわらとして活用することで、資源として有効活用することができます。

生産者の皆さんは、稲わら・もみ殻の有効活用に努め、焼却を行わないようにお願いします。

「稲わら」を収集してみませんか？

収集した稲わらを自身で活用したい方、稲わらを収集して販売してみたい方には「ロールペーラの貸し出し」や「販路の支援」などを行っていますので、ご相談ください。

収集した「稲わらミニロール」を販売します

市では、収集した稲わらミニロールを1個400円で販売しています。購入希望の方はご連絡ください。

問い合わせ先…農林政策課 内線2515

地域農業の将来を考える「集落座談会」を開催します

農業従事者の高齢化や担い手不足が心配される中、10年後に誰がどのように農地を使って進めていくのか、農業関係者が集まり、みんなで地域農業の将来を考える集落座談会を開催します。

また、併せて、これから新規就農することをお考

えの方や農業機械の補助事業を活用したい方、農地を貸す（借りる）ことをお考えの方の相談窓口も設けます。

参加希望の方は、事前にご連絡ください。

問い合わせ先…農林政策課 内線2522

日	時	場 所	対 象 地 域
11月17日(金)	18:00～	中央公民館1階大ホール	五所川原北地区（太刀打・一野坪(朝日田崎、狐崎を除く)・新宮・田川・種井・長橋・川山・沖飯詰・桜田・蘇鉄・藻川・鶴ヶ岡・高瀬・飯詰・下岩崎・毘沙門・長富)
11月20日(月)	18:00～	市浦あすなろホール2階	市浦地域
11月21日(火)	18:00～	金木公民館1階大会議室	金木地域
11月22日(水)	18:00～	中央公民館1階大ホール	五所川原南地区（水野尾・米田・唐笠柳・石岡・吹畑・漆川・一野坪(朝日田崎・狐崎)・湊・姥蒔・稲実・広田・七ツ館・梅田・中泉・浅井・小曲)
11月24日(金)	18:00～	コミュニティセンター長橋大広間	五所川原東地区（戸沢・石田坂・若山・松野木・福岡・富栴・神山・野里・福山・豊成・俵元・原子・羽野木沢・持子沢・高野・前田野目・野崎・杉派立・野里野岸・神山野岸)